



駒ヶ根市議会議員
市場割在住

気賀沢 葉子

西日本の豪雨被害にあわれた皆さまにお見舞いを申し上げます。

駒ヶ根市でも、大変暑い夏を経験いたしました。「さわやか信州」と言えなくなってしまうかもしれません。今のところ、豪雨・土砂崩れの被害はありませんが、これまでなかったから大丈夫と安心していただけないのが、昨今の災害です。今年の駒ヶ根市の防災訓練は、市場割区と上赤須区が担当です。日ごろからの備えの必要性について考えるよい機会です。

5～7月にかけては、飯綱町での議員研修、伊那谷・伊南行政地区の研修、地元の河川や道路の視察、委員会行政視察等がありました。学んでまいりましたことを、より暮らしやすい駒ヶ根市となることに、活かしてまいりたいと考えております。



ポカラレクナート市訪問団の歓迎会

6月議会の一般質問では、駒ヶ根市が市営住宅の管理業務長野県住宅供給公社に委託したことを受け、市営住宅に関する住環境の向上について質問しました。また、今年5月に、国会で「政治分野における女性活躍推進法」が全会一致で可決されました。駒ヶ根市でも、人権・男女共同参画推進室への組織改正による政策面での充実について質問しました。

6月定例議会での一般質問

① 市営住宅の安定供給と住環境の向上は

気賀沢 公営住宅等長寿命化計画によると、今年平成30年度は中間見直しの年である。進捗状況及び見直す内容は。

市長 進捗状況は16棟87戸の修繕を実施し、当初の計画通り進んでおり、見直しは考えていない。

気賀沢 入居希望者のニーズが変わってきている。ニーズに見合う住宅を提供するには、スケジュールの前倒しが必要では。入居者の多様性や変化への対応として行政側の体制見直しは。

市長 母子世帯や高齢者等の応募が増加している。ニーズへの対応も探りつつ、生活に困窮されている方の住宅は市が確保していく。入居率が7割台と空き家があることから、必要戸数で削減して維持修繕を優先する。今後も計画どおり住環境の改善に努めていき、前倒しは行わない。

気賀沢 民間の知恵も活用し連携して進めては。

市長 福祉部局をはじめとする庁内関係部局、住宅周辺の自治組織の皆さまとの連携が大事。

② 人権・男女共同参画推進室への組織改正により、政策面での充実は図られるか

気賀沢 DV、女性の貧困、セクハラ等は人権侵害が根本にある。人権・男女共同参画推進室への組織改正で、政策面での低下はないのか。また、事業内容の変化は。

市長 総人権啓発との連携を図るため企画振興課から総務課へ移管。人権尊重の視点から、事業を行うことが大切であり、今後も男女共同参画社会の実現を目指して事業に取り組む。職員向けの人権啓発も考え、機会あるごとに取り組む。

【活動日誌】

2018年4月

- 26日 中央アルプス開山式
- 27日 赤穂南部地区農業集落排水管理組合代議員会
- 28日 上赤須区定期総会
- 29日 福岡区十二天の森を守る会定期総会
- 30日 つながる食堂「おいでなんしょ」

5月

- 6日 市場割区通常総会
- 10日 上赤須区高齢者クラブ「万年会」総会
- 11日 市議会全員協議会
(かほく市友好都市協定締結/事業評価について)
広報広聴委員会(「議会だより」打合せ)

17日 地方議会研修会 in 長野県飯綱町で視察研修

- 18日 赤十字奉仕団年次総会
- 21日 農業法人下在南部生産組合第7期通常総会
- 24日 赤穂南小学校 サポーター交流会：田植え参観
- 28日 美里サロン開催
- 31日 市民活動支援協会「ぱとな」通常総会

6月

- 1日 市議会全員協議会
- 2日 赤穂南小学校運動会
- 4日 H30 第2回駒ヶ根市議会定例会
- 9日 こまがね未来会議：JICA 駒ヶ根の派遣前訓練プログラムに参加
- 11日 都市計画審議会

13~14日 議会一般質問

- 15日 総務委員会
- 17日 駒ヶ根市ポンプ操法・特科技術大会
- 19日 教育民生委員会
- 21日 議会機能向上推進委員会/広報広聴委員会
- 23日 JOCA 本部 & 「ぱとな」お披露目交流会
- 24日 上赤須区敬老会・市場割文化講演会
- 25日 上赤須区健康教室
- 30日 大御食神社 夏越大祓

7月

- 4日 伊南市町村議員研修会
- 5日 市営住宅・生活保護を考える会
- 6日 議会全員協議会
- 13日 伊那谷三市議員研修会
- 20日 ねずみ川視察研修

23~26日 教育民生委員会行政視察研修

- 27日 長野県男女共同参画審議会
- 29日 十二天の森自然観察会
- 31日 つながる食堂「おいでなんしょ」

5/17「地方議会研修会 in 飯綱町」 に参加

◆住民と共に地域課題を解決する議会へ

議員のなり手不足が深刻化する中、飯綱町議会は、議会モニターや政策サポーター制度など、独自の手法で活動を「見える化」新たな住民との関係を切り拓き、住民を巻き込み議論することで、地域を活性化。

◎駒ヶ根市議会でもぜひ取り入れたい内容でした



赤穂南小学校5年生の田植え風景
この後赤穂の上田市立北小学校応援団の皆さんと交流

教育民生委員会行政視察 7/23~26

【東川町】5年間で3%の人口増。モノでなく

文化でまちづくりを目指し「写真文化首都」

宣言。高校生が毎年集まる「写真甲子園」は今年で24回。

◆ 保育士の待遇改善・資質向上の研修を実施

【留萌市】障がい者の就労支援を農業で実践。ピーマンの箱詰め・花き類の芽取り・大根の収穫等。◆サポーターの育成・派遣を実施

【当別町】障がいと共に暮らす共生型の事業として「ごちゃまぜサロン」を展開。地元にある「北海道医療大学」と連携し、政策立案の過程から共に考え、新しい事業を展開。大学生・教員との連携が密



知っていますか？

「議会だより」は年4回、定例議会の報告のため発行。市報と一緒に配布されます。

「議会だより」をリニューアルしました



定例議会のメインの内容を大きく取り上げ、委員会報告では、小見出しを付け読みやすくしました。今後も、市民の皆さまに、読んでいただけるように、改善してまいります。ご意見がありましたら、お教

万葉通信 No.11 2018年 8月号

【発行】 氣賀澤葉子 (駒ヶ根市議会議員)

電話：0265-82-5418 【市場割在住】

E-mail: yokok57@dia.janis.or.jp

ホームページ: www.city.komagane.lg.jp